



# レモンの魅力



広島県は全国一のレモンの生産地です。健康にもよく、いま、注目を浴びているレモンの魅力を、健康、生化学、調理、文化、文学の各方面から探っていきます。

- 日 時：平成 25 年 10 月 2 日（水）・9 日（水）・16 日（水）・25 日（金）・30 日（水）  
18:20～19:50
- 会 場：サテライトキャンパスひろしま（広島市中区大手町 1 丁目 5-3 県民文化センター）
- 内 容：

| 日 程       | テ ー マ                 | 講 師                 |
|-----------|-----------------------|---------------------|
| 10 月 2 日  | レモンの効用～健康面から～         | 名誉教授<br>堂本 時夫       |
| 10 月 9 日  | レモンの魅力：ビタミン C だけではない！ | 生命環境学部 教授<br>武藤 徳男  |
| 10 月 16 日 | 食生活にレモンを・・・。          | 人間文化学部 准教授<br>森脇 弘子 |
| 10 月 25 日 | 西洋文化とレモン              | 人間文化学部 教授<br>天野 みゆき |
| 10 月 30 日 | 日本文学とレモン              | 生命環境学部 教授<br>遠藤 伸治  |

- 定 員：80 名
- 対 象：どなたでも
- 受 講 料：無料
- 申込方法：往復はがきで、往信面の裏に①郵便番号、②住所、③名前、④ふりがな、⑤電話番号を、返信面の表に受講される方の郵便番号、住所、名前（「〇〇〇〇」様）をご記入の上、平成 25 年 9 月 17 日（火）（消印有効）までに下の申込先にお送りください。受講案内は申込締切日以降にお届けします。

※申込にあたってお寄せいただいた個人情報は県立広島大学公開講座以外の目的には使用しません。

- 申込・問合せ先：〒734-8558 広島市南区宇品東 1-1-71  
県立広島大学地域連携センター「レモン講座」係  
電話（082）251-9534（平日 9:00～18:00）
- 主 催：県立広島大学地域連携センター
- 後 援：広島県



# 《 講座概要 》

## 第1回 レモンの効用～健康面から～

堂本 時夫

レモンは美容や疲労回復に効果があることが歴史的にも、経験的にも良く知られています。さらに最近では生活習慣病の予防や改善に対してレモン摂取が有効である可能性が言われています。レモンの健康への効果をこれまでの論文や学会報告などの研究成果に基づいて紹介し、食生活をはじめとする私たちの生活にレモンをどのように利用する道があるのかをみなさんと一緒に探っていきたいと思っています。

## 第2回 レモンの魅力：ビタミンCだけではない！

武藤 徳男

レモンといえばビタミンCというイメージですが、実はほかにも魅力的な成分を豊富に含んでいます。それも果汁や果肉だけではなく、果皮に含まれる成分も健康効果の面で注目されています。果皮を使った食品や料理が増えていますが、科学的検証の世界から何がわかってきているのか、平易な言葉で解説します。広島産レモンを日常生活の中で使う楽しさと良さをさらに深めていただくようお話をします。

## 第3回 食生活にレモンを・・・

森脇 弘子

アツアツの揚げ物にレモンをしぼる、サラダにレモンをかける、紅茶はレモンティー・・・おいしそうですね。キッチンの掃除にレモンも使えます。講師が話題提供者になり、大学生が考えたレモンを使った料理の紹介、参加者同士の意見交換、大学生との交流などを予定しています。

## 第4回 西洋文化とレモン

天野 みゆき

西洋の人々にとって、レモンはどのような存在なのでしょう。また、レモンにはどのような意味が与えられてきたのでしょうか。ルネサンス期のイタリア絵画、1880年代にゴッホがフランスで描いた一連のレモン、そしてイギリスの作家二人による旅行記、D・H・ロレンスの『イタリアの薄明』（1916）とロレンス・ダレルの『にがいレモンーキプロス滞在記ー』（1957）等から考えてみましょう。

## 第5回 日本文学とレモン

遠藤 伸治

「日本文学とレモン」と言えば、梶井基次郎の「檸檬」が思い浮かびます。梶井の作家活動は大正末から昭和7年ときわめて短く、肺結核のため31歳で亡くなった作家ですが、彼の代表作「檸檬」は、今も熱心に愛読され、愛好され続けている作品です。梶井が、レモンの魅力をどのように表現しているか、そのレモンが、彼の人生において、そして、大正末から昭和の闇の中でどのように輝いたのかについてお話しします。